

交渉決裂

十八日会社側ハ争議団ニ於テ社長ノ言明セル範圍
迄ニ讓歩セサル以上再ヒ会見スルモ何等意義ナシ
却ツテ争議団ヲ激昂セシムルノミナリトノ理由ヲ
以テ会見拒絶方ヲ争議団ニ申送り爾來会社各重役
ハ其姿ヲ晦シ居レリ
而シテ会社一級重役ハ予テヨリ解雇者ハ絶對ニ護
腹セシメサル意見ヲ有シ居リテ社長カ争議団ニ讓歩シ
タルヲ不快ニ感シ居リタルカ争議団カ尙有利ナル解雇
條件ヲ獲得スヘク追求シ来リタルヲ以テ之ヲ好機會
トシテ交渉ヲ決裂セシメタル模様ナリ

右及申(通)報俱也

別紙

- 一、六月十三日から社長及び少重役が争議団の人々と懇話会見して、交渉から大
変折れ合った結果でも出たのですが、遂にまとまらず決裂の形となりました。
- 残念ながら又お金のま、で目を重ねて行くこと、なりました。
- 二、工場を休むべから今日迄会社の意向は度々通知せしてあつたし又皆さんが争議団
に出勤して居る間は作業を始める訳に行かないといふ事も繰返してお知らせして
ある事ですから工場の作業開始を望んで居らるゝ人々は此の降中迄に話し合つ
て一せいに争議団には出勤しない様に断然たる方法をとりつて下さるゝとして争議団
退居を合致(送)つて下さい。
- 三、亦にもお知らせしてある通り五月末日迄に争議団退居を会社へ送つて来た人
は自然除籍となることは既に申承せの事ですが中にはおれかされて心ならずも
退しおれ居る人もある様に思はれるので除籍の手続きを延滞して来ましたが、
その何れ迄も待つ訳には行きませぬから、この期がつか次才(五月二十四日)限り
為記一の期に一せいに争議団をぬけると共に脱退届を会社へお出し下さい。
- 四、六月二十日限りになりましたので脱退しないでおろす、引っぱられて行く人々には誠に
お氣をなすが断然夜業員名簿から抹消となります。従つて其人々は開場した時